

よう。時間調整するのは不可能です。各市町が一斉に放送を始めたら混乱し、正確迅速な情報をお知らせすることができなくなってしまいます。

### 周波数を変更します

このような事態になった最大の原因は、郵政省が定めた地方行政波(広報無線用)の周波数割当が、全国で4波しかなく、このうち東海地区への割当は2波しかなかったからです。

東海大地震発生の危険性がいわれ始めた52年頃から、広報無線を設置する市町村が急激に増えはじめたため、郵政省は、53年12月に新たに広報無線用「防災行政波」として、15波の割当を許可しました。そしてこれまでの地方行政波をこの防災行政波に変更するよう指導しています。

また現在使用中の送信機の耐用年数もきているため、今回周波数変更を決定しました。



▲アンテナ取替え中の広報塔

この工事は、いざという緊急事態の場合、混信で役に立たないような心配をなくし、身近かな情報を放送できるようにして、市民のみなさんの生命と財産を守る防災設備として大きな役割を果すようにします。

$\frac{2}{28}$ 日と $\frac{3}{1}$ 日は広報が聞こえません

2月28日と3月1日の2日間は、送信機の変更工事のため広報無線が全部聞えなくなりますが、それ以後3月9日までの間には順次聞えるようになります。工事は精力的に取り組み一日も早く聞えるようにいたします。その間、ご迷惑をおかけする地域もありますが、変更工事の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。



▲現在使用中の送信装置

# 春の火災予防運動

あなたです！火事を出すのも防ぐのも

二月二十八日～三月十二日

## グループ訪問 37

### ひと汗かいた後が...

#### 広見地区ミセス卓球教室

「いやー驚ろきました。はじめ20人募集したら100人以上の申込みがあったんです。スポーツ熱ってすごいですネ」勤労青少年会館の職員で卓球の指導もやっている山野政宏さん(27歳)が話します。

市内の中小企業に働く青少年の福利厚生のための施設として広見地区に開設されて久しく、夕方から夜間は若人で賑わう。しかし、あまり利用されていない午前中を地域の人たちに開放し、つながりを強めていこうとはじめました。

金曜日のリーダー藤田紀子さん(48歳)は「みなさんから好評で、この教室をずっと続けてほしいという



▲初めは球がラケットに当らなかったけれど...

声が多いんです」と語ります。

「ひと汗かいた後がとても気持ちよくて...」「それにいろんな人とも知りあえるしね...」

元気な声が次々に聞こえていました。